

# 1. 調査報告概要表

## 【認知症対応型共同生活介護用】

作成日 平成20年5月26日

### 【評価実施概要】

事業所番号	2772200503
法人名	社会福祉法人 弘仁会
事業所名	グループホームやすらぎ苑
所在地	大阪市生野区田島3-6-13 (電話) 06-6751-1270
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 20年 5月 15日

### 【情報提供票より】(平成 20年 4月 1日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成 11年 12月 1日		
ユニット数	1ユニット	利用定員数計	8人
職員数	8人	常勤 3人, 非常勤 5人, 常勤換算	7.5人

#### (2) 建物概要

建物構造	RC 造り		
	4階建ての	3階 ~	3階部分

#### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	42,000円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり		円/1ヶ月当たり 40,000円	

#### (4) 利用者の概要 (平成 20年 4月 1日現在)

利用者人数	8名	男性	2名	女性	6名
要介護1	3名	要介護2	3名		
要介護3	0名	要介護4	1名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 80歳	最低	61歳	最高	96歳

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人 呉診療所
---------	-----------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

地域の診療所で地域診療活動を長期間実施し、地域に根ざした安定した居場所の確保を目指して開設した社会福祉法人が運営するグループホームで、デイサービス、在宅介護支援センターが併設されています。「一、高齢者が安らぎと生きがいを持てる、自立した生活の場を築きます。一、地域からの信頼を大切に、地域に根ざした施設を築きます。一、職員は常に向上心を持ち高度な介護技術と、心温かな福祉サービスを提供致します。」をホームの理念として掲げ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。職員は利用者一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向に沿うよう支援し、やさしい雰囲気です。母体法人の診療所の医師と訪問看護ステーションの看護師との医療連携により利用者に必要な医療と看護を提供しています。

### 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	前回の外部評価で示された事項について、改善が進んでいます。分かりやすい運営方針をフロアに表示し、介護計画については家族承認の署名を受け、また外部研修は参加する機会が増えています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価については、管理者が職員と議論をして完成させ、認識の共有化を図って、サービスの具体的な改善に取り組んでいます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議は地域包括支援センター職員、地域ネットワーク推進員、地域の代表、利用者、家族の参加のもとで、4ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの活動方針や運営状況、行事、利用者の生活ぶりについて説明をしています。家族とのコミュニケーションを増やすことやボランティアの受け入れ等、地域との交流の深め方について意見を交わし、相互の理解を深めています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。今後、利用者毎の日常の生活ぶりを家族に伝えるため、定期的に便りを送付することが望まれます。家族とは面会時だけでなく、家族も参加する行事の時や年2回の家族会で、思いや希望、不満を表せるようにしています。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	利用者は毎月地域の憩の家での食事や喫茶の会に出席して交流し、運動会にも参加しています。地元の小3年生児童の体験学習も受け入れています。地域の方が法人の役員として参加しています。法人の行事の時には地域の住民にも参加してもらっています。ボランティアと一緒に歌体操や紙芝居を楽しんでいます。

## 2. 調 査 報 告 書

(          部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「一、高齢者が安らぎと生きがいを持てる、自立した生活の場を築きます。一、地域からの信頼を大切にし、地域に根ざした施設を築きます。一、職員は常に向上心を持ち高度な介護技術と、心温かな福祉サービスを提供致します。」をホームの理念として掲げ、利用者が安心してその人らしい生活を続けられるよう家族、職員、地域住民と共に支えています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	定例の施設会議やグループホームミーティング、毎日の業務等を通じて理念を共有し、理念に沿った介護サービスの実践に取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	利用者は毎月地域の憩の家での食事や喫茶の会に出席して交流し、運動会にも参加しています。地元の小学3年生児童の体験学習も受け入れています。地域の方が法人の役員として参加しています。法人の行事の時には地域の住民にも参加してもらっています。ボランティアと一緒に歌体操や紙芝居を楽しんでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	前回の外部評価で示された事項について、改善が進んでいます。分かりやすい運営方針をフロアに表示し、介護計画の家族承認の署名を受け、外部研修の機会が増えています。自己評価については、管理者が職員と議論をして完成させ、認識の共有化を図って、サービスの具体的な改善に取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は地域包括支援センター職員、地域ネットワーク推進員、地域の代表、利用者、家族の参加のもとで、4ヶ月毎に開催しています。会議ではホームの活動方針や運営状況、行事、利用者の生活ぶりについて説明をしています。家族とのコミュニケーションを増やすことやボランティアの受け入れ等、地域との交流の深め方について意見を交わし、相互の理解を深めています。	○	運営推進会議は年6回、もしくは概ね2ヶ月に1回開催することが求められます。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	併設の在宅介護支援センターを通じて、地域包括支援センターと困難事例について相談したり、情報交換を行ったり、法人として家族介護教室の受託をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族との面会時には、利用者の生活ぶりや連絡事項を伝え、利用者の医療や安全に関わる事項については、必要の都度電話で家族に報告しています。今後、利用者の日常生活ぶりを家族に伝えるため、定期的に便りを送付することが望まれます。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族とは面会時だけでなく、家族の参加する行事の時や年2回の家族会で、思いや希望、不満を表せるようにしています。苑長が交代したため、近々家族会を繰り上げ実施する予定です。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員数に比べて退職者が多くなっています。残った職員の頑張りや新人採用による補充で、利用者への影響は最小限に抑えられています。新人職員の採用時研修も計画的に実施しています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	月毎に職員が話し合っ業務目標を設定し実行する制度があり、ステップアップを目指して外部研修を受ける機会もあります。ただ、研修を受ける職員が限られているため、ホーム内で全職員への伝達研修を計画的に実施することが望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	大阪市の事業者連絡会に参加し、同業者との情報交換や交流をしています。今後、グループホームのネットワークに参加して、グループホーム間で職員の相互研修を実施することが望まれます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	職員が家庭訪問を行ったり、利用者や家族がホームに来訪したりするなど、家族や本人の不安を取り除き、安心して入居、サービスを受けられるように取り組んでいます。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は利用者と共に過ごし、学び支えあう関係を目指した支援を行っています。書道や俳画の作品を持ち込んでいる方、空調機に詳しい方、ベランダの花の水遣りが好きな方等利用者の得意な分野で、家事や行事の機会を通して学び支えあう関係を作っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	入居時に家族や利用者からの聞き取りは行われていますが、その後の毎日の生活を通じて得られた利用者の生活歴や意向など、新たな気付きの記録と整理がなく、利用者一人ひとりの暮らしや楽しみ方の希望が十分把握できていない状況です。	○	毎日の生活を通じて得られた利用者の生活歴や意向など、新たな気付きを記録・整理し、日々のケアや暮らしや、楽しみに生かしていくことが求められます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者の現在の暮らしや願い、心身の状況を把握し、医師や看護師、家族の意向を反映させて介護計画を作成しています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は定期的には1年毎に、また状態の変化がある時はその都度見直しを行うことになっています。現在、近々行われる家族会で見直しの介護計画を家族に説明するべく、アセスメントの見直しやモニタリング結果のまとめをして、見直しの介護計画は作成準備中です。	○	介護計画の見直しは状態の変化がある時はその都度、定期的には6ヶ月毎に見直すことが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	関連法人の診療所の医師と訪問看護ステーションの看護師との医療連携により必要な医療と看護を提供しています。地域のボランティアの支援も受けています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	関連法人診療所の医師による往診医療を受けていますが、診療科目によっては入居以前からのかかりつけ医療機関より引き続き医療を受けています。協力医療機関と連携し、夜間や急変時の対応についての体制も整備されています。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ホームでの看取りの実績があります。入居時にホームでの看取り実施の指針を伝え、家族に説明し同意を得ています。状況の変化とともに、利用者と家族、医師、ホームとの話し合いを行いながら対応していく予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者一人ひとりを人生の先輩として尊重し、職員の言葉かけや態度は明るく丁寧で、やさしい雰囲気です。職員は採用時に個人情報の取り扱いについて法人と書面を取り交わしています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の生活リズムに配慮し、利用者のペースでゆったりと暮らせるよう支えています。職員が利用者を制止したり、急かしたりする言葉はなく柔軟な対応をしています。起床時間に合わせた朝食の時間、入浴の時間についても柔軟に対応しています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	通常、夕食については下ごしらえ済みの食材を、朝と昼については未調理の食材を併設のデイサービスの厨房から取り寄せています。利用者は食事準備、野菜の下ごしらえ、盛り付け、後片付け等の一連の作業に得意な分野で積極的に参加しています。月1回の食事と月2回のおやつについては好みのメニューで買い物から調理までの一連の作業にも利用者が参加し楽しんでます。職員は利用者の食べ方の混乱や食べこぼしに対するサポートをさりげなく行い、会話をしながら楽しくなごやかな雰囲気を作っています。屋上菜園で収穫した野菜や果物を食べることもあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	希望によっていつでも入浴が可能で、毎日入浴している利用者もいます。通常週3回以上ゆっくり寛いだ入浴を楽しんでいます。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者は一日の生活の中で家事にそれぞれの役割を見つけ、分担し合いながら張り合いのある生活を送っています。ほぼ毎日全員で本格的な機材を使ってカラオケを楽しんでいます。屋上の菜園で野菜や花作り、収穫を楽しんだり、地域の憩の家での食事や喫茶会で交流をしたり、ボランティアと一緒に歌体操や紙芝居を楽しんだり、新聞読みを楽しんでいます。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	日常的な公園や神社、商店街への散歩以外に市場やスーパーへの買い物、季節の花見や遠足に出かけています。今後利用者毎に計画的な個別の外出を実施することが望まれます。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	玄関ドアは開放されていますが、ホームのある3階から階下に通じるエレベーターに鍵がかけられています。	○	職員間で身体拘束についての議論と理解を深め、安全に配慮しながらできる限り鍵をかけずに見守りによる対応ができるよう努力することが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害に備えるマニュアルを作成し、年1回消防署立会いで避難訓練を実施しています。非常・災害時の食料品と水の備蓄は実施できていません。	○	災害対策のマニュアルに従って、年2回の避難訓練をすることが求められます。非常・災害時のための食料品と水の備蓄をすることが求められます。また備蓄については「非常用備蓄マニュアル」等の取り決めを作成してはいかがでしょうか。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者全員の一日の食事摂取量と水分管理の必要な利用者の水分摂取量を把握し記録しています。栄養バランスについては、併設のデイサービス厨房の管理栄養士のアドバイスを受けています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	エレベーターホールには絵画や花が飾られ、椅子もあって、ゆったりとした雰囲気になっています。広く、明るいろビング兼ダイニングルームからは季節の花のあるベランダ越しに公園の緑が望まれ開放感があります。季節の飾りや屋上菜園で育った花が飾られ、ゆったりとしたソファセットや複数の椅子が置かれ、壁には利用者の書道作品や俳画があって、落ち着きと生活感のある空間になっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入口にのれんが掛る各居室には、利用者が整理ダンス、飾り棚、鏡台、椅子、仏壇、人形、自作の俳画、新聞、家族の写真等使い慣れた馴染みのある物を持ち込み、家族が母の日にプレゼントした花も飾られていて、個性的で安心して生活できる空間になっています。		